

# なごやの学童保育

市連協ニュース No10

2021年度・3月1日発行

名古屋市学童保育連絡協議会

TEL(052)-872-1972

FAX(052)-308-3324

E-Mail:info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

## コロナ禍の活動など交流

### 区連協会長会議を開催

名古屋市学童保育連絡協議会(市連協)は2月15日、各区の学童保育連絡協議会の会長による会議をオンライン中心に開催しました。新たな助成制度や「合同運営」の申請状況、コロナ禍での学童保育所の様子、各区の運営上の課題などについて情報や意見を交換しました。

### 臨時の処遇改善は大半が申請

学童保育指導員などの福祉関連業務に従事する人たちの処遇を国の予算により3%程度改善する

「処遇改善臨時特例事業助成」については、「申請をしなかった学童保育所があった」という報告が2区からありましたが、大半は申請をしたようでした。申請をしなかった理由については、一時的に学童保育所が処遇改善分を立て替える必要があるため障害になった旨の説明もありました。

### 合同運営は活用進まず

複数の学童保育所で一緒に学童保育指導員を雇用できる「合同運

営」は、条件が従来の「新たに分割し同一敷地内にあること」から、2022年度から「同じ小学区内」に緩和されます。運営委員会を一つにし、学童保育所間で常勤職員の人事異動ができるなど運営上のメリットがあります。しかし各区からの報告により、新たに利用する学童保育所は少ないことがわかりました。

### 恒例行事開催に悩み、工夫

区連協での合同入所説明会は、コロナ禍により「中止」や「開催の是非に悩む」、「会場確保が確保できない」などの報告がありました。代わりに保育園などへのチラシの配布、「広報なごや」への案内掲載などの報告もありました。一方で、定員が一杯で入所希望に対し断らざるを得ない学童保育所の事例も紹介されました。

合同の行事については運動会やコマ大会の開催を断念した区が多い中、オンライン利用や時間短縮など開催方法を工夫している報告もありました。また大規模化しすぎて運営の仕方を見直しているという区もありました。